練馬区立大泉北中学校 校長 金子 俊成

教育目標

人間尊重の精神を基に、心身ともに健康で、広く国際社会において信頼と尊敬が得られる豊かな人間性を培う。また、基礎・基本を大切にし、生涯を通じて自ら学び、自ら考え正しく判断して行動する生徒を育成する。その実現に向け、次の目標 を設定する。

・思いやりのある人間 ・自ら学ぶ人間 ・明るく健康な人間

目指す学校像

教育目標を達成するため、本校の伝統と実績を踏まえ、生徒にこれからの社会を き抜くための確かな学力と豊かな人間性、健康・体力を調和し向上させることの

- (1)授業が分かれば、学校が楽しい (2)感動のある学校
- (3)生徒主体の学校 (4)使命を果たす学校
- (1) 基礎的な知識・技能を確実に定着させ、確かな学力を身に付けさせ、たくまし い体を作る学校
- ・分からないことは分かるまで学べる ・努力した人が報われる (2) 学校・家庭・地域社会と協力し、思いやりの心や感動する心など、豊かな心を 育む学校
 - ・自分の輝ける場所がある 一所懸命
 - ・自分の輝ける場所がある ・行事で感動し合える ・違いを認め合える ・困っている人を見逃さない
- (3) 基本的な生活習慣と社会生活におけるルールを身に付け、生徒が主体性を発揮 , できる学校 ・ダメなことはダメと言える ・言い
 - チャレンジする気持ちを忘れない
 - ・遅刻をしない
 - ・言い訳をしない、人のせいにしない・いじめをしない、見逃さない、許さない ・あいさつができる
- (4) 保護者や地域に信頼され、愛される学校
 - ・地域を知り、地域で体験し、地域に貢献する。
 - ・教育は人なり。教職員が生徒のために全力を尽くす。

教育活動の中期的目標

- (1) 教育目標「自ら学ぶ人間」を達成するために
 - ・授業時数を確保し授業改善に努めて、分かる授業と分かる評価を徹底する。
 - ・基礎学力の確実な定着と学習意欲の向上を図るために、朝読書・朝学習、 少人数授業や夏期学力補充教室、補習や質問教室等の学習支援を充実させる。
 - ・ICT 教育を充実させる。
 - ・分かる授業のための授業研究を充実させる。
- (2) 教育目標「思いやりのある人間」を達成するために
 - ・生徒の実態に即した3年間を見通した進路指導計画に基づき、生き方指導を 充実させる。
 - ・行事を中心とした体験活動を重視し、思いやりの心を育む。
 - ・教育環境の整備に努める。人権教育、道徳教育、特別活動を充実させる。・生活のベースとなる学年経営、学級経営の充実と相談活動を重視する。

 - ・いじめの根絶を目指して組織的に取り組む。
- (3)教育目標「明るく健康な人間」を達成するために
 ・ティームティーチングによる保健体育授業や体育的行事の充実を図り、健康
 増進、体力向上を目指す。
 - ・食育、保健 充実させる。 保健指導、健康・安全教育、情報モラル教育、薬物乱用防止教育等を
 - ・生徒が主体的に活動する部活動を大事にし、全教職員で活動支援する。 ・保護者・地域社会、関係機関と協力して生徒の健全育成に努める。
- (4)「保護者や地域に信頼され、愛される学校」を達成するために ・教育公務員としてのコンプライアンスを遵守し、開かれた学校を目指す。 ・学校評価や保護者・地域の声を受け止めて、期待に叶う教育活動を推進する。 ・地域行事へのボランティア参加、小学校や地域社会との連携の強化を図る。

今年度の教育活動の目標と実現に向けた方策

- (1) 自ら学ぶ生徒の育成
 - ・学力向上に向けた取組として、毎時の授業の目標を明確に生徒に示し、生徒の学習意欲を引き出す「分かる授業」に取り組む。「言語活動」を重視する。
 - ・10分間の朝読書、15分間の朝学習に全校体制で取り組む。
 - ・個に応じた指導の充実を図るため、数学授業において、ティームティーチング(TT)や少人数授業に取り組み、保健体育の授業でもTTを行う。更に、学力向上支援講師(数学)を投入する。
 - ・5日間の夏期学力補充教室と夏季休業最終日の半日授業 (コンテスト形式の 小テストの実施) を実施する。補習や質問教室の実施、適度な宿題を課すな ど、家庭学習支援の取組を強化する。 ・電子黒板やデジタルカメラ等、ICTを活用した授業に年1回は取り組む。更
 - 図書館支援員と共に図書館運営を充実させる。
 - ・授業力向上のための授業研究・研修を充実させる。
 - 各種検定制度の積極的な活用、コンテスト形式の小テストの実施で学習意欲 の向上・継続を図る。
 - ・小中一貫教育研究グループの大泉第一小学校、大泉北小学校との研究を進め、 基礎学力の定着・向上を図る。

(2) 思いやりのある生徒の育成

- ・道徳授業は道徳教育推進教師を中心に指導計画に沿って実施し、思いやりの 心を育てる。
- ・キャリア教育の視点に立ち、職場体験、福祉・奉仕活動を重視する。 ・学校行事、部活動、職場体験、奉仕活動、生徒会活動等の様々な活動の企画 と運営に生徒を参加させ、生徒が主役・主体の場となるように支援する。
- ・防災教育をはじめ、自他の生命を大切にする安全指導を徹底する。また、いじめに関するアンケート調査を年3回以上実施し、いじめ防止と解消を図る。 ・弁護士による「いじめ予防授業」を1年生に実施し、人権感覚を向上させる。 ・学校生活上の問題を生徒自らに考えさせ、解決させる努力をする。 ・いじめ防止対策委員会を定期開催し、いじめの未然防止、早期発見・指導等、

- いじめ防止への取組を強化する。
 ・報告・連絡・相談を大切にし、学年組織・分掌組織が共通理解と共通実践に
- より授業規律や生活規律を高め、安全・安心な学校づくりを進める。・特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、学校生活支援員等による部会を毎週開催し、相談体制を充実させる。
- ・校舎内外の環境美化・整備に努める。
- ・人権教育推進校として人権に関する講演会を開催し、人権教育を推進する。 体罰はしない。暴言を吐かない。

(3) 明るく健康な生徒の育成

- ・規律正しい生徒、あいさつのできる生徒を各種キャンペーン活動で育成する。
- ・部活動参加を奨励し、参加することによる所属感・自己有用感、達成感・充実感、技術習得等の喜びを実感させ、学校生活を充実させる。
- ・生徒、保護者との面談・相談の機会を年2回程度実施する。また、不登校生
- 徒との連絡を密にとり、担任・校長による面談を実施する。 ・生徒理解に基づく学年・学級経営を行う。また、毅然とした生徒指導と心の こもる丁寧で温かな生徒指導を実行する。カウンセリングマインドの実践。・1年生と保護者対象に情報モラル(主に携帯)講習会を開催し、情報モラル
- の向上を図る。
- ・年間を通して「積み立て式体力つくり」を実施し健康増進と体力向上を図る。
- ・食育と保健指導、給食アレルギー対策を進める。また、給食試食会や食育講 習会を実施する。
- ・安全教育推進校として、生活安全(防犯)に関する取組を実践し授業公開し て、学校と地域社会の教育力の向上を図る。

- (4) 保護者や地域に信頼され、愛される学校 ・学校だより、学年だより、生活指導だより、保健だより、給食だより、進路 だより等、また、学校ホームページによる学校情報発信、土曜日授業による 学校公開に努める。

 - ・土曜授業を、多数の保護者や地域の方に参観していただけるよう工夫する。 ・教育活動アンケートや土曜授業での意見や感想を生かし教育計画を改善する。 ・家庭と担任との連携を基本に据え、保教の会、青少年健全育成団体・避難拠 点運営協議会等との連携を図る他、子ども家庭支援センター、主任児童委員 等との連携に努め、生徒指導と教育活動の充実を図る。

5 重点評価項目及び評価指標

学力の向上	自ら学ぶ生徒	評 価 項 目	評 価 指 標	保護者·地域		生徒		教職員	
				努力指標	成果 指標	努力指標	成果 指標	努力 指標	成果 指標
		・学習意欲を引き 出す分かる授業	・ICTの活用 (電子黒板)	A		A		A	
		・朝学習と朝読書の取組と成果	・基礎、基本が身 に付いた	A		A		A	
		自己評価についての評価結果及び主な意見							
豊かな人間性	思いやりのある生徒	・安全教育	・防犯意識の向上	A		A		A	
		・道徳授業や道徳 指導	授業が充実していた	A		A		A	
		自己評価についての評価結果及び主な意見							
生きる力・健康・体力	明るく健康な生徒	・情報モラル講習	情報モラルが身 に付いた	A		A		A	
		・基本的な生活習 慣	・遅刻をしない	A		A		A	
		自己評価についての評価結果及び主な意見							
地域連携・社会貢献	保護者地域の信頼	・進路指導 ・保護者との連携	・進路指導が充実していた	A		A		A	
		・学校情報の発信 HP、各種便り	・学校、学年のことが伝わった						
		自己評価についての評価結果及び主な意見							

<指標について> とても良い: 4 良い: 3 改善の余地あり: 2 改善が必要: 1 の 4 段階で評価された自己評価(地域、保護者、生徒、教職員)を基にして $A\sim D$ で分類《 $A:4\sim 3.6$ $B:3.5\sim 2.8$ $C:2.7\sim 2$ $D:1.9\sim 1$ 》

◎「大北中だより」は、学校 H P (ホームページ)でカラーで見ることができます。 ご覧ください。